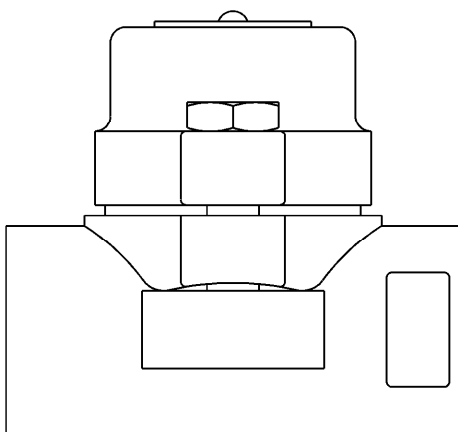

**AVS32 型ステンレス鋼製蒸気用自動空気抜き弁
取扱説明書**



1. 安全のための注意
2. 商品仕様
3. 設 置
4. 始 動
5. 運 転
6. 保 守
7. 予備部品

1. 安全のための注意

取扱説明書に従って、有資格者が、設置、立ち上げ、保守点検を正しく行なうことにより、これらの商品が安全に稼働できます。配管および工場建設の工事説明書、安全のための注意に従って、適切な工具を使用し、安全設備を備えて、行なってください。

警告

本体およびカバー・ガスケットには、薄いステンレス製のサポート・リングが使われています。けがをしないように、取扱および廃棄には十分に注意してください。

遮断

遮断弁を閉じると、システムの他の部分あるいは人体に危害がおよぶことを考慮してください。ベントあるいは保護機器、警報機を遮断することは、大変危険です。システムへの衝撃を避けるために、遮断弁の開閉はゆっくりと行なってください。

圧力

保守を始める前に、配管内にどのようなものが残留しているか、あるいは流れていたかを十分に確認してください。圧力を遮断して、安全に大気圧まで排気されているかを確認してください。スパイラックス・サーコのDV型ブローダウン・バルブを取り付けると、簡単に行なうことができます。(詳細は別の資料をご覧ください) 圧力計がゼロを示しても、システムの圧力が完全に抜けたと思わないでください。

温度

火傷の危険を避けるため、温度が常温になるまで作業を休止してください。必要ならば防護服（防護眼鏡を含む）を着用してください。

廃棄

リサイクルできます。廃棄の際は適切な処置を行なうことにより環境汚染が生じることはありません。

2. 商品仕様

2.1 概要

AVS32 型は、ステンレス鋼製の保守可能な蒸気用バランスプレッシャー式自動空気抜き弁です。平らなストレーナー・スクリーンがついており、ストレート接続です。

圧力のかかる全ての部品は、AD-Merkblatt W0/TRD100 に合致した TUV 認定の工場で作られています。

規格

この商品は、European Pressure Equipment Directive 97/23/EC に合致しています。

証明書

この商品は EN 10204 3.1.B に準拠の証明書を発行できます。

注記：ご希望の際は、必ず注文時にご指定ください。

注記：詳しい商品情報は TI-P123-16 の資料をご参照ください。

2.2 口径および接続仕様

15A, 20A, 25A

ねじ込み Rp もしくは NPT

差込み溶接 BS 3799

突合せ溶接 EN 12627

フランジ JIS/KS10、JIS/KS20、EN 1092 PN40、ANSI B 16.5 Class 150 および 300

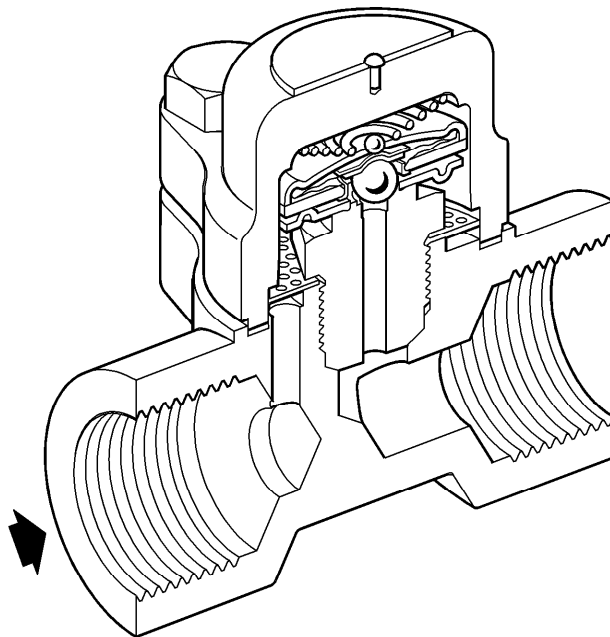
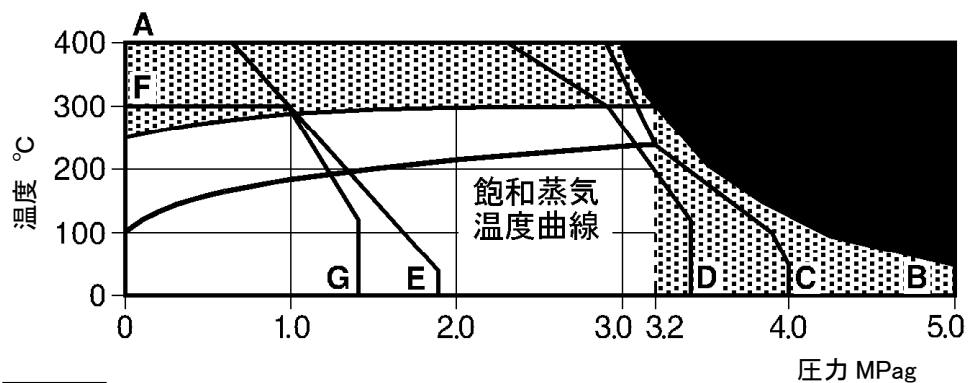


図 . 1

2.3 圧力 / 温度限界



■ この商品はこの領域では使用できません。

▨ この領域では内部部品に損傷が起きる恐れがありますので使用しないでください。

- A -B ねじ込み、差込み溶接、突合せ溶接および
フランジ ANSI 300
- A -C フランジ EN 1092 PN40
- A -D フランジ JIS/KS 20K
- A -E フランジ ANSI 150
- F -G フランジ JIS/KS 10K

最高本体設計定格	PN40
PMA 最高許容圧力 (50°Cの時)	5.0MPag
TMA 最高許容温度 (3.0MPagの時)	400°C
最低許容温度	-200°C
PMO 最高使用圧力 (飽和蒸気)	3.2MPag
TMO 最高使用温度 (3.2MPagの時)	300°C
最低使用温度	0°C
注記 : 使用温度がより低い場合は、スパイラックスにお問い合わせください。	
最高テスト圧力	7.5MPag

3. 設置

注記：設置の前に、章1の‘安全のための注意’をご覧ください。

取扱説明書、銘板および技術資料を参照して、商品が目的に合っているか確認します。

- 3.1 材料、圧力、温度およびそれらの最高値を調べます。商品の最高使用限度が、取り付けるシステムの限界より低い場合は、過剰圧力を防ぐ安全装置が備わっていることを確認します。
- 3.2 設置場所および流体の流れの方向を決めます。
- 3.3 すべての接続部のカバーを取り外します。
- 3.4 AVS32型は、カプセルを水平面に置き、上部にキャップを取り付け、空気の集まるメインあるいはプラントを一番高い位置に取り付けます。大量の空気を取り除くため、排出を邪魔しないように、安全な場所にむけてください。
- 3.5 空気抜き弁を保温しないでください。
- 3.6 配管に空気抜き弁を電気アーク式で溶接する場合は、カプセルを取り外す必要はありません。

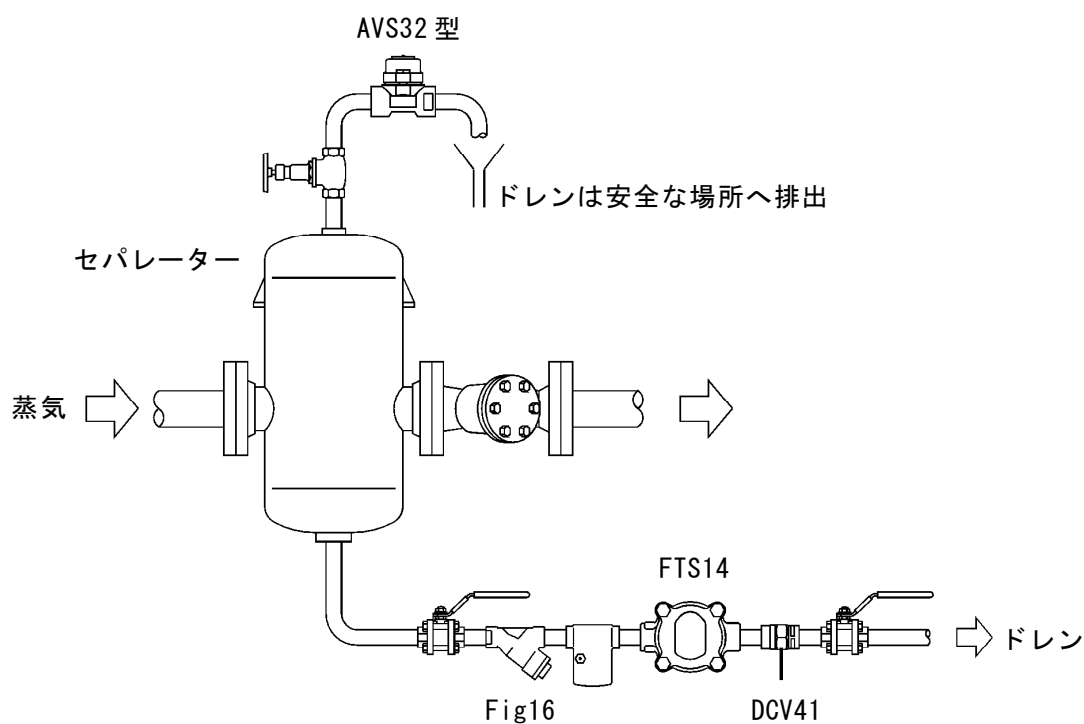


図. 2

4. 立ち上げ

設置あるいは保守の後、システムが完全に機能していることを確認します。警報機あるいは保護機器のテストを実施します。

5. 運転

カプセルには、水の沸点より低い沸点をもつ特殊な液体が少量含まれています。始動時に温度の低い状態になると、バルブがシートから外れ開いて、空気が無制限に排出します。バランス式プレッシャー・トラップ／空気抜き弁の特長で、空気抜きに最適な理由です。

6. 保守

注記： 保守を始める前に、章 1 の ‘安全のための注意’ をご覧ください。

警告

本体およびカバー・ガスケットには、薄いステンレス製のサポート・リングが使われています。けがをしないように、取扱および廃棄には十分に注意してください。

6.1 注意一般

一度安全な手順ができますと、空気抜き弁を配管に取り付けたままで保守を行なうことができます。保守の際に新しいガスケットおよび予備部品を使うことをお奨めします。必ず適切な工具を使用し、安全設備を備えて行なってください。保守が終了しましたら遮断弁をゆっくり開けて、漏れがないか確認します。

6.2 新しいカプセルおよびシートの取り付け方法：

- ・ 2 本のカバー・ボルト(9)をまわして、本体(8)からカバー(1)およびスプリング(17)を取り外します。
- ・ カプセル(2)およびスペーサー・プレート(18)を取り出します。
- ・ バルブ・シート(3)を回しながら、本体(8)より取り外します。
- ・ ストレーナー・スクリーン(5)を清掃、または交換します。
- ・ バルブ・シート(3)を交換し、推奨締め付けトルクで締め付けます(表 1 参照)。
- ・ 新しいカバー・ガスケットを取り付けることを推奨します。バルブ・シート(3)の上に、スペーサー・プレート(18)を確実に中心にくるように再び組み立てます。
- ・ カプセル(2)、スプリング(17)およびカバー(1)を再び組み立てます。

注意： カバー・ボルト(9)は推奨締め付けトルクで確実に締め付けてください。(表 1 参照)

6.3 ストレーナー・スクリーンの清掃あるいは交換方法：

- ・ 2本のカバー・ボルト(9)をまわして、本体(8)からカバー(1)およびスプリング(17)を取り外します。
- ・ カプセル(2)およびスペーサー・プレート(18)を取り出します。
- ・ バルブ・シート(3)を回しながら、本体(8)より取り外します。
- ・ ストレーナー・スクリーン(5)を清掃または必要に応じて交換します。
- ・ バルブ・シート(3)を交換し、推奨締め付けトルクで締め付けます(表1参照)。
- ・ 新しいカバー・ガスケットを取り付けることを推奨します。バルブ・シート(3)の上に、スペーサー・プレート(18)を確実に中心にくるように再び組み立てます。
- ・ カプセル(2)、スプリング(17)およびカバー(1)を再び組み立てます。

注意：カバー・ボルト(9)は推奨締め付けトルクで確実に締め付けてください。(表1参照)

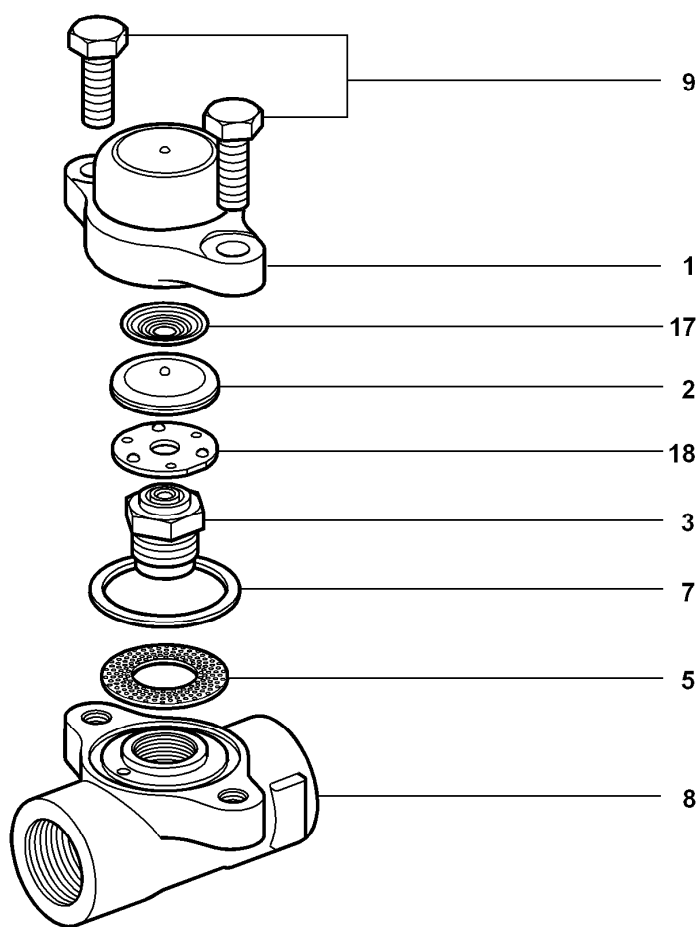




図. 3

表1. 推奨締め付けトルク

No	部品	 又は  mm	Nm	
3	バルブ・シート	24 A/F		115 - 125
9	カバー・ボルト	16 A/F	M10x30	23 - 27

7. 予備部品

予備部品は図中に実線で示しています。破線で描かれている部品は予備部品として供給していません。

予備部品

カプセルおよびシート・アセンブリー・セット	2、3、17、18
ストレーナー・スクリーン (3 個入り)	5
カバー・ガスケット・セット (3 個入り)	7

予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使い自動空気抜き弁の口径および型式を指定してご注文ください。

例：25A、AVS32 型自動空気抜き弁用カプセルおよびシート・アセンブリー・セット・・・1 個

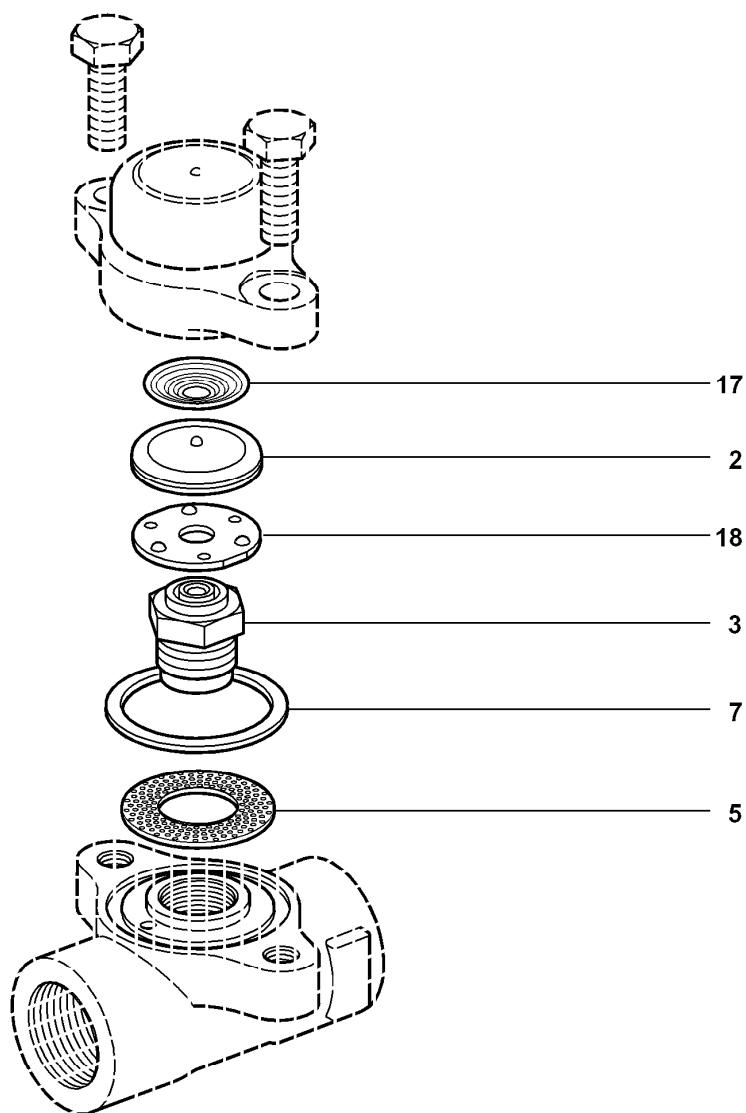


図 . 4

お問い合わせは下記営業所もしくは取扱い代理店までお願いいたします。

本社・イーストジャパン・ノースジャパン

■電話（フリーダイヤル）

技術サポート：0800-111-234-1

ご注文・お問合せ：0800-111-234-2

■FAX

(043) 274-4818

■住所

〒261-0025

千葉市美浜区浜田2-37

ウエストジャパン

■電話（フリーダイヤル）

技術サポート：0800-111-234-1

ご注文・お問合せ：0800-111-234-3

■FAX

(06) 6681-8925

■住所

〒559-0011

大阪市住之江区北加賀屋2-11-8
北加賀屋千島ビル203号

取扱説明書の内容は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

spirax
/sarco

First for Steam Solutions

EXPERTISE | SOLUTIONS | SUSTAINABILITY

spirax
/sarco